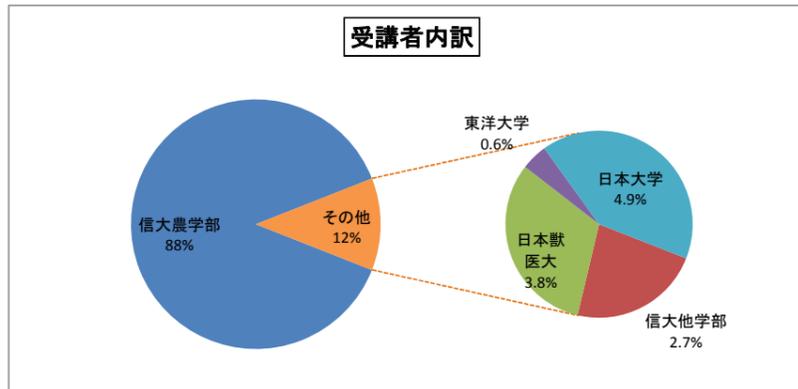


演習受講者アンケート集計【他大学・信大他学部生】 ※回答者数14名

【実施演習科目】

- ・高冷地応用フィールド演習
- ・高冷地動物生産生態学演習、生物生産生態学演習、植物生産生態学演習

受講者内訳		アンケート回答者数	
信大農学部	162	162	158
信大他学部	5	35	5
日本獣医大	7		7
東洋大学	1		1
日本大学	9		1
合計	184		172



1) 演習の満足度について

単位:人

大変満足	満足	普通	不満	大いに不満
6	5	3	0	0

【理由・感想】

<p>●高冷地応用フィールド演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段、東京で生活している為、全く違う環境で実習ができ、良かった。 	・作業がしたかったので満足した。不満がない。
<p>●高冷地植物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座学では知る事がなかったが、品種の違いや栽培方法、収穫、チャックの厳しさを知る事ができ、今後に活かせる事を沢山学べた。 	・野辺山の気候とキャベツなどの高原野菜をより身近に感じる事が出来、充実した演習だった。
<p>●高冷地動物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物だけでなく高原野菜の収穫や流通、一連の流れを自分で体験出来た。牛や牛舎などの管理についても学べたので、とても良かった。 ・農家の方や酪農家の方がどのような事をしているのかを、少しでも知る事が出来た。 ・動物と野菜の実習を両方体験出来て良い経験となった。自大学は大型動物がいないので、動物と触れ合う事が出来て、嬉しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャベツ、トウモロコシの出荷、集荷を知れたことはとても勉強になった。もう少し、動物に関わられた方が良かった。 ・動物の要素が少なかった。動物と関わっている時は、十分に楽しめた。 ・動物に関わる時間よりも、高原野菜の収穫の方が長く感じた。
<p>●高冷地生物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験したことのない事、知らなかったことを学ぶことが出来た。また実際に売られている物の収穫等を体験することで農業に対する責任感等を感じる事が出来た。 ・理学部では体験できない内容で、野菜の収穫や乳搾り等、多方面の事が出来てとても面白かった。雨天となってしまったが、晴れていれば是非ステーション内を回ってみたいかった。 	・実習で体験したことは全て初めてだったため、とても新鮮で面白かった。今まで目を向けてこなかったことに関して、たくさん知る事が出来た。講義ではクローン牛についてなど、生物についても聞けたので、とても勉強になった。

2) 参加した演習で、特に有意義だった、興味・関心が増大した、楽しかった演習(内容)を記述下さい。(複数回答あり)

有意義だった演習

単位:人

キャベツの収穫	牧場体験	農家実習	コーンの箱詰め	家畜	畑見学	子牛の心音聴診体験	キャベツの食味試験
5	3	3	1	1	1	1	1

興味が増大した演習

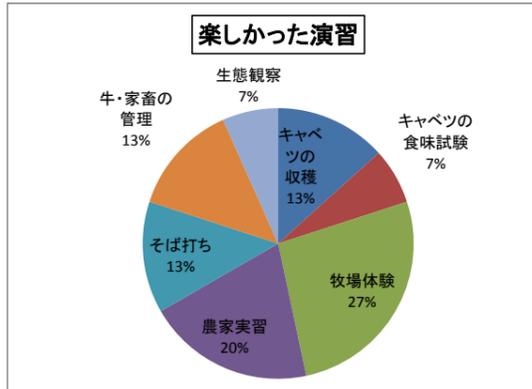
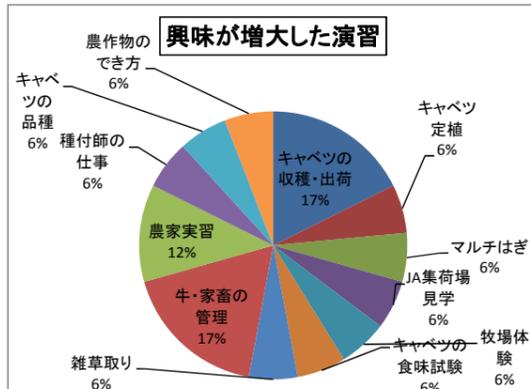
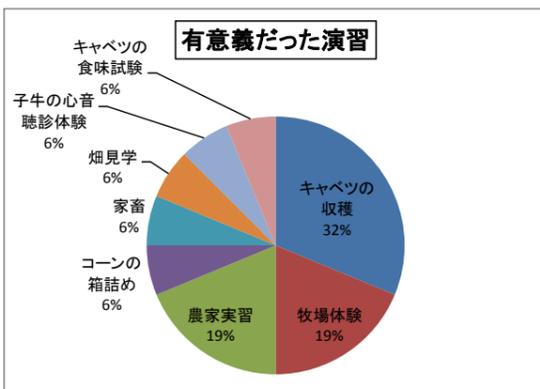
単位:人

キャベツの収穫・出荷	キャベツ定植	マルチはぎ	JA集荷場見学	牧場体験	キャベツの食味試験	雑草取り	牛・家畜の管理	農家実習	種付師の仕事	キャベツの品種	農作物の作り方
3	1	1	1	1	1	1	3	2	1	1	1

楽しかった演習

単位:人

キャベツの収穫	キャベツの食味試験	牧場体験	農家実習	そば打ち	牛・家畜の管理	生態観察
2	1	4	3	2	2	1



【理由・感想】

<p>●高冷地応用フィールド演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番労働が必要だったのは収穫で、充実していた。 ・特別な経験が出来た。
<p>●高冷地植物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品種により、甘みや辛味が違うことを実感した。ここで出荷されたキャベツが特に甘くておいしかった。 ・実際にキャベツに触れて収穫したり、品種によって味が違うことがわかり、高原野菜が暑さに弱い事や、出荷において傷をつけてはいけない事等を感じる事が出来た。
<p>●高冷地動物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛舎の掃除はとても大変だったが、大学ではなかなか体験出来ない事で、動物を管理する上で一番大切な事だと感じた。キャベツも牛も知らなかった事を学び、実際に自分で体験し、体を動かしながら作業をするのが楽しかった。 ・家畜の演習は、知識を身につけられながら、仕事も楽しかった。八ヶ岳の牧場に関しては、もっと知りたいと思った。キャベツの収穫では、一日目はただ立っているだけに近かったが、最終日は信大の学生の方とキャベツの大きさがしかどうか等、話しながら作業をすることが出来た。 ・自大学に牛がいないので、農家で牛の世話を体験出来て、楽しかった。牧場での乳搾りも初めての体験だった。 ・普段、動物と直接かかわる事が少ないので、とても身近で牛等を観察できたことはすごく勉強になった。 ・牛の飼育管理方法を身近に感じながら学ぶことが出来た。酪農家の所で、お手伝いさせていただいた時も、牛のブラッシングや天井の埃落とし、糞の片付け等であっという間に時間が過ぎてしまうくらいに集中して取り組むことが出来た。 ・普段は見る事ができない人工授精師の仕事の見学や体験ができ、興味を持つことが出来た。
<p>●高冷地生物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作物の箱詰めでは、市場で売られている野菜がこれほど手間をかけられていることに気付いた。多少高くても当たり前だと感じた。野菜の収穫～出荷、マルチはぎを経験して、今まで農業は野菜だけ作っている楽な仕事だと思っていたが、計算が必要だし、体力も必要で、とても大変な仕事だということがわかった。 ・何気なく食べているキャベツの奥深さを実感した。収穫では、ここまで細かく選別・箱詰めしているのかと驚いた。品種でも、味や農家の方の目的ごとに様々なものが存在していることに驚いた。 ・広大なレタス畑を実際に見て、写真の通り本当にすごいのだと驚いた。実際に畑に入る事が出来たのも良かった。キャベツの収穫は楽しかったが、箱詰め等、体力勝負のことが多く、本当に大変だと感じた。牧場では、初めて乳搾りを体験し、牛が温かくてやわらかくて、そういう体験ができたことも良かった。 ・私は哺乳類の研究を希望している為、子牛の心音を聴いたことや、牛と触れ合えたことは、貴重な体験だった。乳搾りは、出来るか不安だったが、牛乳が搾れてうれしかった。キャベツ収穫は疲れたが、達成感があり楽しかった。

3) 演習参加後、食料、農業、環境、高冷地、野菜、家畜等について、興味・関心が増大したことはありますか。

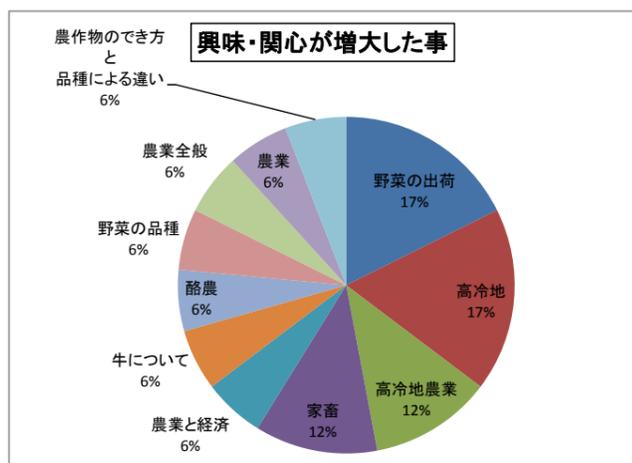
単位:人

ある	ない
14	0

興味・関心が増大したこと(複数回答あり)

単位:人

野菜の出荷	高冷地	高冷地農業	家畜	農業と経済	牛について	酪農	野菜の品種	農業全般	農業	農作物のでき方と品種による違い
3	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1



【理由・感想】

<p>●高冷地応用フィールド演習</p> <ul style="list-style-type: none"> 高冷地ならではの野菜であり、生活ができたと思う。 長野県にいながら、今まで知らなかったことに気付いた。 農業と経済について、効率性、市場との関係について気になった。
<p>●高冷地植物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> 防風林に特に興味を持った。 野辺山周辺は高冷地となっているが、国内に同様の土地がたくさんあり、それぞれその地によってまた違った特徴があると思った。
<p>●高冷地動物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> 地味な仕事が多かったが、牛がなめてきたり顔をこすりつけて来て、とてもかわいかった。牛のより良い飼養方法についてもっと知りたいと思った。 家畜について、これからもたくさんの事を知りたいと思う。 野菜を収穫して、一つ一つ厳しく検査して出荷する大変さがわかった。 家畜に対し餌をやるときに細かく量が決められていることがわかった。どのようにその分量を決めているのかが気になった。 フリーストールとつなぎ飼いで乳牛へのストレスのの違い等を今後も見極めて行きたいと思った。 同じキャベツでも食べ比べてみると違いがあり驚いた。
<p>●高冷地生物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> 高冷地だから出来る事を最大限利用した栽培方法、野菜栽培全般に関心を持つようになったと思う。消費者が野菜を手にするまで、すごい努力と時間がかかっているということ、マルチはぎを2本体験しただけで、筋肉がパンパンになったのに、それを何百本もやっているということ、農作物を拭く作業など、全てが視線で興味を持てた。また、技術職員の方の処理スピードが素晴らしかった。 殆ど機械化が進んでいて、収穫や洗浄等も機会が行っているイメージだったが、実際はかなりの人の手による手間がかかっていることを実感した。種まきでも、野菜ごとに土の深さが違う等、私たちが知らない所で知恵や工夫をしてくれているのだと興味を持つようになった。 コーンの調整作業を体験したがとても大変だった。普通に畑で育てていたら、土がつくのは当たり前なのにあれほどきれいに拭かないといけなことに驚いた。直売所行の物も食べるのには問題ないが、ランクが下がってしまうのがもったいないと思った。農業は、とても大変な職業だと感じた。 キャベツの食味試験で、味の違いが分かり、楽しかった。その後、品種ごとに作り方や葉の蒔き方が違うということを知り、キャベツ一つでもたくさん学べることがあると感じた、生物の研究では、発生の違いを観察したりするので、同じように野菜にもあることを知り、楽しかった。

4) 参加した演習の内容、指導等について要望、改善点がありましたら記述下さい。

<p>●高冷地応用フィールド演習</p> <ul style="list-style-type: none"> もう少し収穫の作業に回りたかった。
<p>●高冷地植物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし
<p>●高冷地動物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> そばもやりたかった。 もう少し、動物要素が多い実習にして欲しかった。 動物と関わる実習をもっと増やして欲しいと思う。
<p>●高冷地生物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> もう少し昼休憩の時間が欲しかった。 雨天時、そば選別ばかりだったので、他にも出来る事があると良いと思う。

5) フィールド、施設、設備について要望、改善点がありましたら記述下さい。

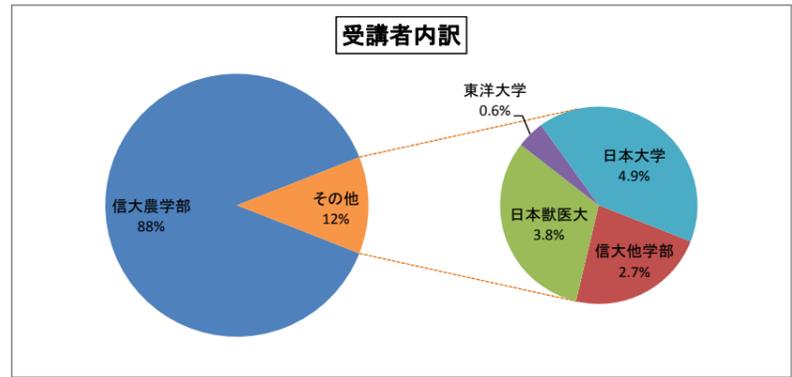
<p>●高冷地応用フィールド演習</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし
<p>●高冷地植物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気炊飯器、業務用鍋を少し増やした方が良かった。
<p>●高冷地動物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> シャンプー等を設置してほしい。 洗濯機と乾燥機の数が少なかった。
<p>●高冷地生物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし

受講者アンケート集計【信大農学部生】 ※回答者数158名

【実施演習科目】

- ・高冷地応用フィールド演習
- ・高冷地動物生産生態学演習、生物生産生態学演習、植物生産生態学演習
- ・高冷地農家実践演習

受講者内訳		アンケート回答者数	
信大農学部	162	162	158
信大他学部	5		5
日本獣医大	7	35	7
東洋大学	1		1
日本大学	9		1
合計	184		172



1) 演習の満足度について

単位:人

大変満足	満足	普通	不満	大いに不満	無回答
17	105	30	3	2	1

【理由・感想】

<p>●高冷地応用フィールド演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段は関わる事ができない、キャベツの播種から収穫までの生産過程をしっかりと学ぶことが出来た。(3) <p>●高冷地植物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3泊4日で、野辺山でしか体験できない様々な事を体験させてもらった。(21) ・高冷地という生産場を実際に体験し、高冷地農業について学び、貴重な体験ができた。(9) ・非常に充実した演習内容で、有意義な時間であった。(7) ・規則正しい生活を送れた上に、新しい友達が増えた。(5) ・キャベツの演習が少なく残念だった。(4) ・楽しみながら学習でき、満足した。(3) ・共同自炊をすることで、参加者同士の中が深まり、また実習を通し、食材への気持ちも変わった。(3) ・農家の方が如何に大変な作業を毎日行っているかを実感できた。(3) ・実際の農家の方の活動に近いものを体験することが出来た。(2) ・高冷地の植生などを体感できた。(2) ・早朝から、農家の体験ができて、座学の時より農家をイメージすることが出来た。(2) ・キャベツの食味試験により、品種による味の違いが分かったのが楽しかった。(2) ・色々な農業の体験ができ、収穫したての新鮮な野菜をたくさん使って、自炊する体験も良かった。(2) ・普段は実験ばかりで実習的なものをしてこなかったが、生産の現場の色々な事を学ぶことが出来、とても充実したものとなった。 ・牛の乳搾りなども、体験してみたかった。 ・様々な事を見たり、聞いたりしたことは良かったが、生活内容がそこそこ辛かった。 ・とても内容は充実していたが、もっと時間を効率的に使ってほしかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生同士で仲良くなる事が出来た。 ・過ごしやすかった。 ・睡眠はしっかりとれたが、食事の量が少し多かった。 ・多くの人と1つの事を協力し、たくさんの事を学ぶことができた。 ・この年齢になって、団体行動をとる事が新鮮だった。 ・牧場系の演習の代わりにカゴメ見学があつて良かった。 ・カゴメ工場を見学でき、進路について考えることができた。 ・農業実習では、新しい知識を入れたり、実習で学んだことを生かすことができた。 ・いつもと違う環境で出来て、楽しかった。キャベツの収穫は、楽しかった。 ・食事当番と早起き、シャワーが大変だったが、空気が綺麗で、涼しく作業ができた。 ・一日中、朝から晩まで畑で作業すると思っていた。 ・メニューを考えるのは大変だったが、満足に食べる事が出来て、良かった。しっかりと寝る事もでき、良かった。 ・キャベツの収穫をメインに、高冷地の作物に関する様々な知識を得ることができ、また、実際に作業することで、記憶に残りやすかった。 ・高冷地でしか行かない実習をもっと多くやりたかった。 ・早起きが辛かった。 ・食事については、もう少し肉を食べたかった。 ・安価に利用できる。
<p>●高冷地動物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物生産生態学演習なのに、動物関連の演習が少なく、植物に関する内容が多かった。(28) ・キャベツの収穫や集荷場の見学、農家見学等、日頃出来ない事を体験出来た。(10) ・牛についての演習に参加でき、実際に扱い、とても勉強になった。(2) ・伊那では出来ない実習、体験、講義が出来て今後の学習への土台になった。講義で聞いたことのある内容でも、実践が伴ったことで理解が深まった。 ・所属学科では体験できない様な事を色々体験出来たとともに、共同生活の中で、他学科の先輩後輩と多く触れ合えて有意義だった。 ・大学の演習で行うようなことばかりで大半が半分雑用で、動物の生産生態学の要素が少なかった。 ・人数が多く、やる事が無い人が出来てしまうことがあった。少人数の方が大変だが、学び易いと思った。 ・牧場での作業は楽しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指示がわかりにくく行動がしにくい事があった。 ・3泊4日みっちり集中して取り組めた。 ・疲れたが楽しい面もあった。2年生と仲良くなれた。 ・馬の堆肥出しが大変だった。やり終えた後の達成感がすごかった。 ・毎日時間いっぱいまで作業が出来て、暇がなかったのが良かった。 ・高原野菜の収穫を通して、八ヶ岳の地域の特徴を知る事が出来、充実していると感じた。 ・動物のことに加え、植物のことも学べた。毎日ごはんがおいしかった。 ・他の人はキャベツが多いと言っていたが、自分たちは少なかったため、そのように感じなかった。 ・牧場での体験ができて良かった。泊まりが楽しい。 ・実習内容は毎日充実していたが、4日の内3日は雨で残念だった。
<p>●高冷地生物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段の講義では経験出来ない農作業等の演習を行い、作物生産の現場の様子を知る事が出来た。(12) ・自分の専門分野でない勉強をすることが出来、とても良かった。(9) ・普段は体験する事が無いことが出来、今まで知らなかった事を学習し、非常に有意義であった。(8) ・グループワークを通して、様々な人と交流ができて、普段は出来ない貴重な体験が出来た。(2) ・農業は大変だと改めて感じる体験が出来た。(4) ・最終日、雨天の為に場内の見学が出来なかったことが、少し心残りとなった。(2) ・短期間で、そば打ち、搾乳、バター作り等、色々な初めての体験が出来た。(2) ・キャベツ収穫等の畑仕事や、普段見ることが出来ない工業を見る事が出来、貴重な体験をした。 ・普段、自分たちが食べている野菜やソバの収穫や出荷を体験することが出来た。 ・農作物の実習が充実していた。 ・様々な体験ができて良かったが、それぞれの実習のスパンが短かったため、3日目は疲れて何もできなかった。 ・農場での作業は面白く、作物一つ一つの違いを手にとって確かめられたことは良い経験だった。 ・これといった不満は感じなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高原作物の収穫や、川上の視察等を通して、高冷地における農業を今までより深く学ぶことが出来た。 ・全体的に体験が多くて楽しく、講義も解りやすかった。タイトなスケジュールだと感じたが、寝る前まで少し時間が多いため、夕飯の前まで時間が多いのは良かった。 ・予想以上に野辺山がキャベツやレタスに力を入れている土地だということが身を持ってわかった。 ・初めてキャベツ収穫をして、土に触れ合うとともに全員で食について深く考える機会が得られた。 ・キャベツ、トウモロコシの収穫、そば打ち体験など、とても楽しかった。牛の乳搾りもよい経験となった。 ・同じ学科の人と班がわかれてしまったため、班行動がしにくかった。生命の人達でしてしまい、なかなか参加できなかった。 ・そば打ち体験、バター作りでは、班の同じ人ばかりがしてしまい楽しくできなかった。 ・野菜の収穫作業を経験出来て良かった。牧場で牛や馬、ウサギと触れ合えてよかった。 ・昼休憩が短い。 ・3泊4日、朝が早かったこと以外はとても満足で、とても充実した演習だった。 ・昼休憩が短い。

2) 参加した演習で、特に有意義だった、興味・関心が増大した、楽しかった演習(内容)を記述下さい (複数回答あり)

単位:人

演習について	有意義だった演習				興味が増大した演習				楽しかった演習			
	応用	植物	動物	生物	応用	植物	動物	生物	応用	植物	動物	生物
高原野菜の収穫・出荷(キャベツ含む)	2	41	6	27	1	18	4	17	2	29	7	3
キャベツ播種・定植・育種					1	1			2			
キャベツの品種・食味試験		3	2		1	11	1	8		3		
牧場体験			19	5			16	9			21	24
集荷場見学	1	3	2	1	2	6	3	3			3	
マルチはり・はがし	1			1						1		1
カゴメ富士見工業見学		4				9				3		
農場・農家見学		7	19	1		2	22	2			17	
植生観察		4				7				4		
野生生物調査・観察				1		3						
農園・畑の管理		1						1				
鎌研ぎ		1										
雑草取り						4				2		
農作業				1								
自炊						1				2		
ペニバンインゲンの管理						3						
キャベツの廃棄						1				1		
クローン牛		1		1			3	3				
そば打ち		1		7				7		21		18
酪農												1
ソバ調整												1
高冷地野菜の講義		1										
全部										1		
合計	4	67	48	45	5	66	49	50	4	67	48	48

【理由・感想】

<p>●高冷地応用フィールド演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャベツの収穫方法では、手作業による苦勞がわかった。 ・キャベツの箱詰めでは、最後の一つをなかなか詰めることが出来なかったが、2日目には早く詰めることが出来るようになり、少し成長した気がした。 ・食味試験では、様々な品種があり、味にも違いがある事がわかり、興味が湧いた。播種は機械があり、とても楽しかった。 ・作業には、それぞれにコツやポイントがあり、それを知り、実践出来る事が良かった。 	
<p>●高冷地植物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャベツの収穫・出荷は、滅多に経験出来ない事であり、農家の大変さその他、多くの事を学べとても有意義であった。(31) ・キャベツには様々な品種があり、品種ごとに味や風味も異なる事がわかった。(9) ・そば打ちは、仲間と協力しながら行え、とても楽しかった。(7) ・カゴメ工場見学は、野菜ジュースの生産過程がわかる貴重な体験だった。(6) ・普段とは異なる植生の森林などを観察し、そこにしかない植物を実際に観察できて良かった。(5) ・生産の実習だけでなく農家の方の生の声を聞いたり、作物のその後の流れを知る事ができ、良い経験になった。(4) ・各所見学は、滅多に見られない物、初めての事ばかりで、非常に興味深く、様々な事を学んだ。(4) ・全て初めての体験で、良い経験になった。(2) ・キャベツのお尻の部分の切断や等級の素早い判断など、熟練しないとスムーズに作業が出来ないと感じた(2) ・圃場内には、一般的に見られるものから絶滅危惧種まで様々あり、説明が聞けて良かった。(2) ・野生生物の調査・観察では、伊那では見ることができない絶滅危惧種の植物を見ることができた。(2) ・早朝からの作業が大変だったが、人数が多く、最後まで楽しく演習をすることが出来た。 ・普段出来ない事が出来、面白かったし、全員で協力する作業で、一体感が生まれ、良かった。 ・初めて鎌研ぎ、鋤をとり、刃を綺麗にするのは大変だと実感した。 ・草とりの重要性を学べた。単純作業でありながら、とても労力が必要であった。 ・そば打ちやキャベツ収穫など、ここでしか出来ない事を体験でき、楽しかった。前期でとった「青果品質保全学」で学んだ事を体験でき、理解を深めることができた。 ・食味試験は、キャベツばかりだったが、このように行うということがわかった。 ・自炊とそば打ちは、分担できてそれなりに楽しく行えた。 ・キャベツの収穫と箱詰めは、大きさがいろいろ違っていて、それを考えて詰めるのが面白かった。マルチとりは、すっきりした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習では、ほとんど草とりだったが、圃場管理にはやはり草とりが重要だと思った。 ・食味試験は、味の違いをあまり感じられなかったが、カゴメの官能検査等をしてる人たちの感じ方、その仕事は何をしていることで出来るのかが、気になった。 ・キャベツ実習で、草とりや収穫、調理をしたことにより、作物への愛情が深まり出来るだけ有効に利用したいと思った。 ・そば打ちは、初めての体験で、職人の凄さに感動した。 ・大学の実習で参加できなかった鎌研ぎを初めて体験し、難しくも楽しくてきた。キャベツをナイフを使って切ったのは初めてで、とても楽しかった。 ・今まで食べるだけだったキャベツの収穫に関わったことで、キャベツ1つが店に並ぶまでの苦勞や値段設定など、キャベツに対する意識が変わった。 ・他の人とたくさん話ができ、仲が深まった。花豆の乾燥場所作りでは、豆が腐らないような工夫を知ることが出来た。 ・農圃の管理では、草とりやダンボール作りなど、あまり目立たないが重要で大変な作業を体験できた。 ・キャベツの収穫方法を学び、食味試験では、どの品種を選んで食べるか等、いろいろ考えさせられた。 ・カゴメ工場見学、クローン牛の試食等は、普段体験・見学することが出来ないの、とても興味・関心が増大した。 ・箱詰め段階でも見た目重視で詰め込んで行く事に驚いた。行程の大変さがわかり、良かった。 ・どれも楽しかったが、草とりだけは辛かった。 ・植物観察では、名前と実物が自分の中で一致したものが多く、勉強になった ・腕が曲がらなくてもできる箱作りが、一番有意義であった。そば作りなどもかなり楽しかった。 ・そば打ちなど、農業の様々な事を経験出来て良かった。農業に対する意識が変わった。 ・野辺山の農業を知るうえで、貴重な見学が出来たと思う。 ・農場経営の大変さを知る事が出来た。頭でわかっているも体が動かなくなったり、良い経験となった。 ・体力、筋力等は自信があったため、廃棄用の穴掘りは楽しかった。
<p>●高冷地動物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家を訪れ現場で実際に行われている酪農作業を体験出来た。(18) ・八ヶ岳牧場で大規模な農場の様子や牛について様々な事を教えていただき、実際に体験し、とても勉強になった。(5) ・動物専攻の為、普段は野菜の収穫はしないので、キャベツの収穫は貴重な体験であった。(4) ・JAへの出荷は、サイズ、汚れ、虫食いの程度等の規格が明確に決まっており、その規格を満たすように丁寧にキャベツの収穫を行うように工夫した。 ・実際の現場を体験し、その実状や仕組みを深く知る事が出来た。自分が普段食べている物の生産過程を知るの、面白かった。 ・集荷場見学では、葉物野菜の新鮮さを保つための技術を知る事が出来た。 ・乳牛が肉牛よりずっと大きくて短命な事を学んだ。苦勞して生産する人の為にも、食品ロスを減らすべきだと思った。 ・久々に乳牛を見て、高校の頃の志望動機や初心を思い出した。青果品質保全学で習ったコールドチェーンを実際に見ることが出来た。 ・放牧地管理において、その植物を刈る目的を理解して作業をすることが出来て良かった。 ・流通を間近で見学することが出来て良かった。冷却の仕組みの説明がとても良かった。 ・クローン牛を食べたのは初めてだったので、良い経験になった。搾乳体験ができて、良かった。 ・乳腺炎という病気とホルスタインの生態について知る事が出来た。 ・キャベツが臭いということを生まれてはじめて知った。 ・普段見ることが出来ない堆肥出しや、弱った牛の治療を見ることができ、良かった。 ・キャベツをザクッと切る作業はとても爽快で、また箱詰めの際のサイズ判断や詰め方の工夫を学んでできるようになるのが楽しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・馬小屋は一年間掃除がされていなくて、馬がかわいそうだったので、今回綺麗にすることが出来て、本当に良かった。来年、後輩たちにもぜひ掃除してほしいと思う。 ・牛がとてもかわいく、ブラッシングも嫌そうでなくて良かった。 ・動物と関わる事が出来た。 ・今までに体験したことがない規模での演習であった。牛にたくさん触れることが出来たため、とても楽しかった。 ・キャベツの品種による味や食感の違いを比較し、品種の選抜や改良の重要性を再認識した。 ・用途や調理方法に応じて、適したキャベツの品種があるということが面白かった。 ・体細胞クローン牛の試食という、普段全くできない経験ができて良かった。 ・大量の牛に囲まれたのは初めてで、しかも尻尾を切る事は初めて知ったので、興味深かった。 ・全て日頃できないことであった為、とても勉強になった。特に八ヶ岳牧場の見学は、実際の牧場の状況を知るために、とても良かった。 ・日頃飲んでいる牛乳を育てるために行われている作業を体験することが出来、関心が以前よりわいた。餌やりは、個体ごとで与える量が違っていたり、糞尿処理でベルトコンベアで運ばれるのはよく考えられていて、面白かった。 ・間近で牛を感じる事ができ、ブラッシング等、普段はできない事を体験できて良かった。 ・直腸検査はなかなか経験出来ない事なので、充実した内容であった。 ・搾乳や直腸検査など、直接的に動物と触れ合えるのが良かった。 ・直腸検査で子宮に触れる体験をして、乳牛の繁殖について興味、関心が増した。 ・糞まみれになって臭いと言われ、きつかった。
<p>●高冷地生物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牧場体験では、普段体験することが難しい牛の餌やりや乳搾り等、貴重な体験ができた。(15) ・高冷地野菜の収穫・出荷体験をして、農家の方々がする作業の大変さの一部を実感した。(15) ・そば打ちは初めてで、貴重で楽しい体験が出来た。(12) ・キャベツの品種がたくさんあり、それぞれの特徴を生かした利用方法がある事がわかった。(6) ・普段知る事が出来ない作物の知識やいろいろな技術を学ぶことが出来た。(4) ・私たちが収穫、出荷したものが、そのまま直売所や農協で販売されるというとても緊張感のある貴重な体験をした。(2) ・そば打ちや収穫など、他学部他コースの人とコミュニケーションが取れ、非常に充実感があつた。(2) ・キャベツ収穫を楽しみにしていた為、充実したものとなった。(2) ・商品になれないキャベツの多さに驚き、品質と無駄との関係が現在のままで良いのか考えさせられた。 ・キャベツやトウモロコシといった野菜の等級である事を身を持って知った。 ・キャベツ収穫では、外葉の有無でランクが変化するなど、大きさを判断出来ない事がわかった。 ・トウモロコシでは、アブラムシによる被害や飾り葉の有無等で、出荷できるものと出来ないものが区別されていて、消費者に届くものがどれほど品質が高い物か目の当たりにし、食物の有難さを実感した。 ・所属コースでは、キャベツの収穫をする機会はないので、この講義を取り体験でき、大変良かった。 ・講義で学んだことをすぐに現場で体験出来たので、より理解が深まったと感じた。 ・野菜の収穫を初めて体験し、野菜をより身近に感じる事が出来た。 ・キャベツを大きさによって分ける作業が楽しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農家の圃場に実際に入って話を聞くことが出来たのことはとても有意義だった。自分が経営するならとコスト面等も考えさせられる機会であった。 ・キャベツ畑を見て、枯れた葉が一面に広がっている「今年是不作だったのかな」と思っていたが、今回の実習で、キャベツを収穫する際に除去する外葉である事を学習した。 ・最近、別の牧場で研修してきたので、牧場見学は比較もでき、楽しかった。 ・畑仕事はキャベツ、トウモロコシの収穫、マルチはがし等、日常では出来ない事が出来た。 ・今まで農業に関わったことがほとんどなかったが、今回地元農家を見学出来、農業についての関心が増した。 ・グループワークや班ごとでの作業を通して、農業を一人で行うことは厳しいと思った。野菜だけでなく、食料に対して興味が湧いてきた。 ・自分たちが選別したそばの実が製粉されて粉となり、美味しいそばとなると思うと良い体験だと思った。 ・内容は違うが、本質は実家の農作業と同じだと感じた。 ・雨の為、野生生物の調査、観察は出来なかったが、先生の講義は非常に勉強になった。 ・野菜畑の管理では、農家の方の大変さや計画性、初霜がいつ頃なのかを読んで作業をするなど、体を動かすだけでなく、頭も使う機会が多いのだと感じた。 ・収穫やトウモロコシを拭くのが大変だったが、他は楽しかった。 ・牛乳は、殺菌温度の違いで、日持ちするしないかが変わってきてすごいと思った。 ・バター作りの原理をもっと知りたいと思ったし、市販のものはどう作っているのかが気になった。

3) 演習参加後、食料、農業、環境、高冷地、野菜、家畜等について、興味・関心が増大したことはありますか

単位:人	
ある	ない
151	7

【応用フィールド】	単位:人
農業	1
キャベツ	1
食料	1
産地毎の栽培品種の違い	1

【植物】	単位:人
野菜・キャベツの品種	12
農業	9
キャベツについて	2
高冷地の気候・環境	13
高冷地農業(高冷地農業様式)	6
高冷地での農作物	1
高冷地での商業	1
高冷地の植生	1
栽培環境	8
食料	5
野菜	5
野菜の品	2
作物の規格	1
作物ごとの作型	1
食べられる植物	1
作物生産の大変さ	1
植物の品種改良	1
野菜を上手に利用した調理法	1
野生植物	1
農家の負担と若手の新規就農	1
農業経営	1
野菜の病気	1

【動物】	単位:人
家畜	26
野菜の品	8
流通	3
農業	3
食料	2
酪農家の運営と現状	2
クローン牛	2
放牧場管理	1
野菜の見分け方	1
高冷地	1

【生物】	単位:人
農業	9
高冷地	7
野菜	7
家畜	6
高冷地農業(野辺山の農業)	5
野菜の品種	4
食料	4
野菜の生産	1
クローン牛	1
地域による集荷の違い	1
農業の実践的な事	1
環境	1
高原野菜の連作障害	1
野菜の流通	1
農家の仕事の負担	1
キャベツの品種	1
規格外製品の活用	1
食品産業	1
蕎麦の実	1
食料生産	1
高冷地の生態	1

<p>●高冷地応用フィールド演習</p> <ul style="list-style-type: none"> 産地によって適した品種が選ばれ、きよみのように試験的に育てて、適している物を新たに取り入れていくのだと思った。 現場を体験出来、農業の裏側を知る事ができた。
<p>●高冷地植物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> キャベツは品種ごとに食感や味が結構違って、目的に応じたものを作れるのが面白いと思った。自分でこのような品種改良が出来たらよいと思った。(15) 高冷地の食料生産は、品目や栽培時期の違い等、平地とは違う独特さがあり、農家の方がいかに苦労して栽培しているかがわかった(6) 野辺山の農家の方から高冷地における農業のあり方や特徴を生かした生産の仕方等を聞き、農業と高冷地の関係性に多少興味が深まった。(3) 低地では見ることのないような植物があちこちに生えていたり、食べられる植物が身近な所のたくさん生えていて面白かった。(2) 野菜の病気を間近に見ることが出来たので、とても勉強になった。キャベツ以外の野菜の病気、害虫についてももっと知りたいと思った。 そば打ちの体験がとて心に残った。各班または班内でも一つ一つの出来に差があり、美味しいものを安定して供給するのは、難しい事だと感じた。 食味試験で味の違いや、新鮮さなどで品質が変化する様子を感じて良かった。 戦後に野辺山地域を耕やして立派なおいしいキャベツやレタスなどをつくってきた農家の人は本当にすごいと思ったし、農業に適した環境下で 実体験をさせてくれたことに感謝します。 雑草を抜いたときに、雑草が持っている病原菌が、育てている植物に感染するのを防ぐ作業の事を知り、一つ一つの作業には意味があり、そのような事をもっと知りたいと思った。 店頭に置いてある野菜やジュースが、消費者に届く過程の一部を見ることが出来、関心が増した。 農業を本気ですることの大変さを知り、真剣に考えようと思った。 レタスの箱詰めの際、向きを意識する事等、普段では考えていない工夫があると思った。それを理解することで違う見方ができるようになると考えられる。 高冷地という特殊な環境を生かしたキャベツの栽培をして一定数の生産量の割合を占めているが、群馬の豊作により今年は厳しいという現実的な話を聞くことが出来た。広大な農地を肌で感じる事が出来た。 実際の作業や様々な見学ができ、高冷地農業の現状と課題を知り、考えることが出来た。益々農業を身近に感じる事が出来たと思う。 伊那在住19年間だが、普段は見られない作物があった。同じ作物でも、その規模の大きさと土地利用に感動した。地域ごとの特徴を活かすことがこの「農」の強みになっていた。 高冷地でのキャベツ生産と地元茨城での生産にどのような違いがあるのか、改善点や他へ応用出来る事はないかが気になった。 非常に広大な土地で、夏季だけという短い期間を利用して大規模に行われている高冷地の野辺山の農業に見られる様々な特徴や工夫が学べ、面白かった。 自分たちで収穫した野菜などだけで調理するのは難しいと思った。野菜には様々な品種があるが、自分に好き嫌いがある為、食べ比べはとても良い経験となった。 食味試験をすると品種によって全く味が異なる事がわかった。品種に分けて出荷をしていない理由などを知る事が出来、面白かった。 見学で現地の方の話を聞き、安定した利益を出すためにいろいろ考えなければならないということがわかった。 今回体験した収穫箱詰めとマルチはがし、雑草ぬきだけでも農家は凄いと感ずることが出来た。自分で播種、育苗、土壌づくり、マルチはがし等、一から全て自分の手で行えば、もっと農家の大変さや農業の楽しさを知ることができ、農学部の人間として成長できると思う。 標高が高く、景色が良かったので、もっと満喫したいと思った。 収穫した作物を主として調理した。味が淡白な野菜だが、深いものも多く、加工することで、その可能性が広がる。 生活リズムも普通の生活とは異なったもので、より農業に携わる人の気持ちになれた。普段見ることが出来ない植物を観察するのは 面白かった。 キャベツがどうやって巻かれるのか、どのように栽培されていくのかを知る事が出来、さらにいろいろ知りたいと思った。全面マルチとは、知らなかった。 収穫の際、腐っている物、うまく丸まらなかった物を見て、その予防方法を考えてみたいと思った。市場に出せないキャベツを牛の餌にするで、食べ物無駄にしない考え方が素晴らしいと思った。 高冷地は米の生産に向かない為、戦後までの農地としては活用されなかったが、時代と消費者のニーズの変化により、野辺山は、葉物野菜の一大産地として変容した点が興味深かった。 高冷地、関東、西日本がキャベツの市場を上手に支配していることに感動した。 高冷地の生態を観察し、様々な植物が見られたことに感動した。キャベツの食味試験で加工した後に美味しくなることに注目する点がすごいと思った。 新技術や品種の導入もあり、「農業」は昔に比べるとだいぶ楽になったかもしれないが、農家の負担はまだ大きく、設備や雇用にもいろんなジレンマがあることを痛感した。 限られた食材の中で自炊をすることは難しく、貴重な体験であった。食料を無駄にしないようにすることの大切さを頭の片隅に入れ、生活していきたいと思う。 病気でダメになってしまったキャベツを破壊する際、限られた土地で時間をかけて育てた結果に病気にかかってしまうときの損失は大きいと感じた。 野菜の収穫過程や出荷の現場を見ることで、他の作物についての興味が湧いた。農家の生活リズムには、驚いた。 夏は農業、冬はバイトという高冷地ならではのライフスタイルに興味があった。広大な敷地で行うキャベツやレタスの生産には目を奪われ、その大変さを知る事が出来た。 作物によって、育ちやすい、育ちにくい環境があるので、他にどの作物がどこで栽培されやすいかを知りたくなった。 気候的に過酷な状況の場所で、それを逆に利用して進めていく方法を選択することが出来た。他の非農耕地も拓いていけば商業的に成功出来るのではないかなと思った。 冷涼で消費地から近いので、こういった栽培が行われているとわかったが、その高冷地での栽培の歴史、メリット、デメリットをもっと知りたいと思った。 場所によって様々な農業を見ることができ、どうすれば効率よく、生産することができるのか理解できた。 長野の天候は、全体的に日が暑く、夜中が涼しいというイメージだったが、野辺山では、日中は日差しが強くても、日陰にいるときは秋ぐらいに涼しく感じられた。 高冷地という環境について知る事ができ、高冷地が日本の農業、経済にとって、重要である事がわかった。
<p>●高冷地動物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳牛の病気である乳腺炎の危険性について学ぶことが出来た。乳腺炎の予防、早期発見する取り組みが必要だと思った。乳腺炎を発症した牛をどのように見分け、治療するのが気になった。(2) 出産後脱臼して立てなくなった牛を安楽死させると聞き、命に別状がない一つの怪我でも油断してはいけないと改めて思い知った。(2) ハケ岳牧場にて、獣医の方に普段獣医がどのような事を見ているのかを聞いたり、実際に肛門から手を入れる直腸検査などを体験させてもらい、獣医に興味をもった。(2) 食味試験により、キャベツの品種による特徴を知る事ができ、面白かった。味の違いだけでなく、形や葉の詰まり具合、色など、様々な違いがあり、調理方法により使い分けられるのも面白かった。(2) 特定の野菜の、時期によっては日本における供給の大半を占める地域のJAの設備を見ることが出来た。 酪農家の苦労していることが、実際に体感できた。 レタス等、他の高原野菜の実習があれば体験してみたい。 就活において、酪農関係の仕事について考えるきっかけとなった。 放牧管理は林業での関わりが最も深そうであり、その関係性を上手く作る事が出来ているか、効率の良い関わり方はどのような物かを考えた。 牛舎の環境や病気になるやすい事(デリケート)を学び、人間に比べて体が大きく、自然でも生活できると思いついてきた。より牛について知りたいと思った。 酪農家が経営を続けるためには、ホルスタインの健康が重要で、しっかり管理されていた。健康チェック、病気の経営にそれらが及ぼす影響に興味を持った。 今までは家畜より野生動物に強く興味を持っていたが、演習により、家畜を飼う上で様々な工夫があり、家畜にも個性があるということを実際に感じる事ができ、家畜にも興味関心を持つことができた。 市場で野菜を買う際には、産地にも注目しようと思った。 実際に収穫体験したことで、最も良い収穫時期やその質の見分け方を学び、今後にも活かせると思い、興味・関心が増大した。 牧場でとれた牛乳がどの様に店頭に並ぶのか、更に知りたいと思った。 農家で少ない頭数で飼われている牛と、牧場で多くの頭数で飼われている牛のどちらの環境が良いのかが気になる。 キャベツ・トウモロコシの収穫や箱詰めを行ったことで、農業がいかに難しいことであるかがわかった。 その地域で作っている品種を知る事で、その地域の意向や特徴を考察することが出来ると思った。 店頭に並ぶまでにサイズを揃え、病気の有無等、たくさんチェックが必要な事に驚いた。少しの葉の有無で価値が変わってしまうことを知らなかったので、慣れしていないと大変だと思う。 二カ所の牧場を見学し、それぞれ牛の飼育方法が違っていたことが印象的であった。どちらがどのような状況に適しているのか興味が湧いた。 集荷場の見学で、女の方が大きな車を運転しているのがカッコよく見えた。 ホルスタインに接することができて、良かった。ホルスタインへの興味が増し、もっと色々体験したいと感じた。 レタスの品種はよく耳にするが、キャベツの品種は全く知らなかった為、大変興味深く感じた。 牛に餌やりをした時、草だけでなく色々な物を一頭ずつ異なる量で与えており、とても細かく管理されていて面白かった。 高冷地は、昼夜ともに気温が低い環境で、非常に生活しやすいと感じた。 ハケ岳牧場見学で、牛一頭の乳量や牛乳1Lの価格等について知り、酪農の利益構造について詳しく知りたいと思った。 キャベツの食味試験で、品種ごとの違いを実感し、様々な品種について知りたいと思った。 クローン牛の試食をして、普通の牛肉と差が感じられなかったため、世間のイメージの重要性がいかに大切かがわかった。 農家見学の際、人工授精師の方にお願いし、直腸検査を体験させてもらった。来年、人口授精師の資格を取得したいと思う。 クローン牛の試食や実際に研修していた方の講義を聞くことが出来、興味が増大した。 キャベツの箱詰め方法はにはコツが必要で、また品種が複数あるのにごちゃ混ぜにして売られている事を初めて知った。 モンゴルでよく育つキャベツの品種を知りたいと思うが、その地域で育てて見なければ、どの品種が合うのかわからないので、難しいと思う。 キャベツの演習と夜のキャベツに関する講義、普段の食事でキャベツを使う機会が多い事もあり、キャベツについて興味が増大した。キャベツを購入する際の注目点が変わるきっかけとなったと思う。 ハケ岳牧場で牛の顔からわかる病気について学び、もっと知りたいと感じた。 農家の繋ぎ飼いや牛舎とハケ岳牧場のフリーストール牛舎それぞれの搾乳方法が気になった。 今までで一番、牛と一緒にいる時間が長くて、もっと動物の事を知りたいと思った。獣医の人と会って、獣医になりたいと思った。 家畜との接し方、仕組みに興味を持った。 乳牛と今までにないくらい、近づいて触れ合うことが出来た。 どのように飼育されているのかを見ることが出来た。牧場では、大学にはいないホルスタインを見ることができ、嬉しかった。
<p>●高冷地生物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> キャベツに品種があり味などの違いがある事を知ったが、店頭では、品種がわからないまま販売されており、他の野菜も実は品種があり、味の違いがあるのか興味が湧いた。(6) 野辺山周辺は、全国的に見ても珍しい気候で、その風土を活かし、工夫をして農業を行うとともに、貴重な品種が多く生息していることを理解できた。(3) 農家の方の話や講義を聞き、野菜の生産に関して興味が増した。 講義でクローン牛のメリットはかなり多く挙げていたがデメリットの説明が少なかったように思う。「安全である」と言われると逆に不安になり、興味がもてた。 高冷地でしか出来ない事があり、他の農場では出来ない事があるがリスクも伴うとわかった。各地域でそれぞれ色々な特徴がある事が面白かった。 南牧村の集荷場は一箇所に大きく、川上村では小さいものが数カ所にある。それぞれの設備投資のコスト、利便性等、メリットを知りたいと思った。 品種によって、加工のし易さや育てる地域が違っていたりすることが興味深かった。 農業は利益性が悪いと考えていたが指導員の話を聞き、そうでないことがわかり、これから農業の経済効果をどのようにあげていくのかについて興味が湧いた。 野辺山の栽培期間は短いため、農家では土地を最大限に使うように計算して畑を作っていることがわかった。機械が通る下に野菜を栽培している点に感心した。 森林を対象に勉強しているため野菜等には興味がなかったが、今回の演習で野菜についてとても興味が湧いた。今後も勉強できる機会があればいいかなと思った。 野菜の生産では、効率化や出荷時期、農地の使い方、農業の蒔き方等、多くの課題がある事を感じた。 自分たちで野菜を収穫・出荷したことにより、市場に並んでいる野菜を今までとは違う目で見ることが出来ると思う。 市場で売られている野菜が、どのような栽培環境で育てられ、輸送され、店頭に並んでいるのか考えたいと思った。なぜその作物が栽培されているか、環境を考えながら食べたいと思った。 長野県が高冷地農業が盛んな地域がある事は知っていたが、実際にその農場を見たことがなかった。今回の演習で見学、体験して、地元の農業により興味を持つことが出来た。特に野辺山の集荷場の冷蔵庫が全国でもトップクラスの大きさであることが印象に残り、大規模に生産していることを実感した。 野辺山のような広大な土地をつかっての農業を初めて見たので、とても興味を持った。 高冷地農業についての知識を深められたので、今後市場で野菜を購入する時は、この体験を思い出し、注意して見ようと思う。 野辺山高原が全国有数の野菜生産地として成立していることについて、もっと学びたいと感じた。 ごく一部の農作業を行ったに過ぎないが、それにしても大変な仕事だと思ふ。 畑農家にはなりたくないと感じた。 連作障害は避けられない問題であるが、今後それを解消できればいいと思った。 高冷地はただ涼しいだけでなく、大都市に近く輸送に都合が良いというメリットがあることがわかった。 防風林の葉が野菜に混入することにより、市場で買う消費者だけでなく、加工業者等にも被害を与えることがわかった。 少しでも虫がついたり、髪が入っていたらダメだという厳しいチェックがあって出荷されることに関心を持った。 土地、目的に合わせた作物、品種の選び方は興味深く、その品種の性質を生かす栽培、利用方法に関心が増した。牧場で牛についての話を聞き、家畜の大切さとその存在について考えることができた。 ただ気候に合った作物を作るだけでなく、毎年、同じ作物を作らないようにする工夫、消費者に合わせて作る、生産者側にメリットのある品種など、様々な考えを基にしている点に感心した。 高冷地ならではの気候を生かした農業が行われていて、もっと高冷地について知りたいと感じた。高冷地から育たない野菜もあり、詳しく調べたいと思った。 実際に自分で野菜を収穫する事によって、どれが綺麗なのかや大きさなど、興味が湧いた。高冷地の暮らしを数日送り、朝や雨などの天候、それによって作られる野菜に適・不適がある事、また牧場の乳搾り、クローン牛の試食により、家畜にも興味を持った。 規格外の野菜は、ここでは牛の餌として再利用していたが、とてももったいないと感じた。所属サークルでは、規格外りんごの販売を行っていることもあり、食べられるのに捨ててしまうような事があれば、利用できる場がないか気になった。 農業は今まで全く触れたことがない分野だったが、実際に作業をしてみて、農家の大変さがわかった。 パキウムクーラーによってコールドチェーンをすることで、新鮮な野菜を高品質で消費者へ郵送出来る事を学んだ。産地の特徴に最適な品種や農家によって品種が異なる事は、興味深かった。 動物全般、触る事が苦手だったが、牛や馬、ヤギなど触る事が出来、かわいさと感じられた。牧場で働く人の動物に対する愛情を感じ、家畜への関心興味が増した。 日本全体で農業に対するイメージを変えていかなければならないと感じた。大変な作業であるということは変わらないが、日本全体で体験してみなければ、大変さが分らないし、食べている命の重さを理解することは難しいと思った。 農業の大変さを改めて知った。腰や足が痛くなる程、重労働だったが私たちが収穫した面積以上の仕事を朝早く起きて作っていることを考えるともっと感謝して頂かなければならないと思った。 マルチはがし作業では、2列ほどはがしただけで、腕や腰が痛くなり、強い日差しの中でのキャベツやトウモロコシの収穫、運搬等は短時間しか体がもたないような大変な仕事だとわかった。 実際にフィールドに出て作業するのは想像の何倍も辛くて、農家の人達の凄さを痛感した。自分で体験することにより、食べ物の大切さがよく分かった。 実際にそばの実からそばになる過程を見たのは初めてだった。 標高が高く、気温が低いという土地柄を活かし、農業を展開しており、品種を工夫することで、念に2~3回収穫するという点に興味を持った。 人間が食べるものを生産するのは簡単にはいかないと感じることが出来た。直売所の野菜がなぜ安いのか分かって、良かった。 普通の農地とは異なり、高冷地だからできるという農業方法を見ることができて良かった。

4. 参加した演習の内容、指導等について要望、改善点がありましたら記述下さい。

<p>●高冷地応用フィールド演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由時間、あまり時間が多かったので、他の演習などにまわしても良かったと思う。 	
<p>●高冷地植物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前連絡で、少し不明な点や情報量が少なく、困った。(11) ・キャベツの収穫時間がもっとあると良いと思った。(8) ・牧場体験も入れて欲しかった。(4) ・もう少し少人数の方が良かったと思う。(3) ・高冷地でしか出来ない事をもっと多く体験したかった。(3) ・返金があるなら、その分でお茶の時のおやつがあれば良いと思う。(3) ・演習の最後の方では、雑草抜きと同じ事ばかりになったので、もう少し色々な内容を体験したいと思った。(2) ・水分を取る機会が少ない。個人がそれぞれこまめに水分補給できるようにして欲しい。(2) ・大人数だったため、声が通りにくい事があり、植生調査等では拡声器を使ってもらいたい。 ・説明も丁寧で聞き取りやすかったため、特に改善点はない。 ・難しいとは思いますが、もう少し自由があると作業にメリハリが出て良いと感じた。 ・睡眠時間がとてもシビアだった。 ・集合時に班で都度点呼をとるよりも、班ごとに並べばすぐ人数確認ができると思った。 ・実習途中でシャワーを浴びたかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・機械を操作してみたかった。 ・野辺山の伝統野菜とかの試食もしたかった。 ・食事時間の間隔が短い。食事時間が短く、量が多い。 ・演習での説明事項は、途中で加えられると混乱するため、なるべく最初に全て説明して欲しい。 ・食味試験は、食後すぐにして欲しい。 ・昼食後、1時間程度の休みがあればよいと思った。 ・そば打ちは楽しかったが、出来上がりがもう一つだった。 ・部屋の埃が酷かったので事前に葉を持ってくるように伝えてもらえればかなり親切だと思う。 ・草ぬきは楽しくなかったため、できればやりたくないと思った。 ・野生動物の調査・観察等で、ステーション外にもう少し出てみたかった。 ・キャベツ以外の高冷地野菜や農業についても知りたいと思った。 ・指導はとても分かりやすく、普段学べない様々な事が学べたので、とても興味深かった。 ・起床、消灯時間を1時間遅くしずらして欲しかった。 ・消灯時間までは外出させてほしい。
<p>●高冷地動物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物コースの必修なので、もっと動物の実習、動物生産に関する演習をしたい。(18) ・今回の実習では植物よりの内容が多くあった為、改善してもらいたいと感じた。(5) ・出荷場をもう少しゆっくりに見たいと思った。 ・馬の堆肥出して入口が1つしかなく狭く効率が悪い。もっと効率よく堆肥出しが行われるようにすべきだと思う。 ・関係性の深い動物コースの2年生の仕事を大事にし、他学科生などは一歩引いた立場を取らせるのも指導の面では良いのではないかと感じた。 ・コース外からの受講にも関わらず、細かく説明していただき、助かった。 ・動物コースでは、農業にあまり深くかかわっていない為、説明がわかりにくい所があると感じた。植物に関する作業の説明をもう少し詳しくして欲しいと感じた。 ・作業にもう少し余裕が欲しいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜の講義でプロジェクターを使うとき、暗すぎて画面を見続けるのが辛かったため、一部の電気はつけて欲しいと思った。 ・布団が臭かった。 ・1つの作業に対する人数をもう少し減らした方が良いと思う。 ・日数が長いと思った。2泊3日でもできると思った。 ・構内にいる肉牛の実習もしたいと思った。 ・野菜の集荷場だけでなく、畜産物のものも見学出来たら良いと思う。 ・汚れる度合いが高いので、農家実習からすぐに昼食の時間になるときは、着替えの時間が欲しい。 ・予め内容、やり方を提示するなどして、もう少し学生に任せてもいい気がする。 ・生徒の気持ちを考えて発言してほしい事があった。 ・禁止事項の明記をはっきりして欲しい。
<p>●高冷地生物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう少し休憩時間が欲しい。(2) ・クローン牛はなぜ安全とされたのかきちんと説明した上でアンケートを取って欲しいと思う。 ・とても分かりやすく良い説明をもらい、スムーズに演習に参加することが出来た。 ・動物の演習はかなりきつい労働メインだったが、この演習は楽しい体験メインでかなり格差があったと思う。その為、夜寝る人が少なくて煩かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最終日のおにぎりは無しにして早く帰る方が嬉しい。 ・動物ともう少し長く遊びたいと感じた。 ・是非、生命コースの必修にしたら良いと思う。 ・夕方ころの自由時間が少し長く感じた。(特に初日) ・教員はもっと学生を信用すべきだと感じる事があった。

5. フィールド、施設、設備について要望、改善点がありましたら記述下さい。

<p>●高冷地応用フィールド演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハエが多かったため、窓に網戸があればよいと思う。(2) 	
<p>●高冷地植物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お風呂の施設拡充。(浴槽設置・シャワー増設)(5) ・寝床、寝具の改善希望(4) ・アメニティを置いて欲しい。(3) ・自販機の設置希望(2) ・シェイクハンドのラケットを新しくして欲しい。(2) ・蚊取り線香や殺虫剤を用意してほしい。(2) ・布巾と床を拭くための雑巾が、もっとあっても良いと思う。(2) ・洗濯機、乾燥機をもっと充実させてほしい。(2) ・食材の充実(乳製品、卵等)(2) ・シャワー室にゴミ箱の設置希望(乾かした髪の毛の処理のため) 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレに音姫を設置する余裕があるなら、ウォシュレット機能も欲しかった。 ・お菓子の量を増やして欲しい。 ・3日目の夕食がそばのみではしんどかった。 ・食堂の椅子がギンギンうるさくて、人の話が聞こえにくい事があった。 ・上級生に問題のある人が多く見受けられたため、制限の必要性を感じた。 ・2階女子トイレの水道が全然出なかった。 ・食事時にハエが飛んでくるのが気がかりだった。 ・厨房の蛇口の数が足りなかったため、増設希望。 ・二段ベッドの上段が厚く、寝苦しかったため、扇風機があれば、嬉しい。
<p>●高冷地動物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷布団が小さい。(2) ・ウォータークーラーや自販機が欲しい。(2) ・シャワーの温度がぬるい。設定では42度だったが、実際はもっと低くなっている。 ・シャワーの数を増やして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2日目と3日目、埃や木くずなどが目に入り痛かった。ゴーグル等が必要では？ ・農場にトイレがなく実習中は施設まで行きにくい為、仮設でも良いので農場にトイレの増設希望。 ・水たまりがずっとあるゾーンの水はけ。 ・食堂にハエが多い。
<p>●高冷地生物生産生態学演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食堂にハエが多すぎて不衛生。(4) ・寝具の改善希望。(4) ・男子シャワー室のドライヤーの交換希望。 ・洗濯機と乾燥機が少ない。 ・ドライヤーがもう少し使えるようになれば良いと思う。(電気容量) ・洗濯機、乾燥機の使用が集中する点の改善希望。 ・厨房以外にゴミ箱があると良かったと思う。(ロビー等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・女子洗濯室の一番左の乾燥機が使えなかった。 ・夜、話したい人だけが集まれる談話室みたいなところを用意して欲しい。騒がしくて眠れなかった。 ・台拭き、まな板、包丁などの殺菌・消毒(アルコール消毒液等) ・食堂の椅子の座り心地が悪く、うるさい。 ・卓球ラケットのラバーの張り替え。 ・Wi-fiが欲しい。 ・洋室の窓の建付けが悪い。